

# 令和7年度事業計画書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

## I はじめに

芸術文化は、一人ひとりが心豊かに生きる社会の構築に欠かすことのできないもので、特に演劇、舞踊、音楽等の舞台芸術は、多くの人々に精神的潤いのある上質な生活をもたらすだけでなく、芸術に関する学びや体験を通じて創造的な人材や、人間らしく生き、他者に共感し尊重する資質を育む機能を持っている。

当財団では、こうした観点から、多くの人々が幸せになる、幸せを感じられる埼玉県になることを目指して事業を進めてきた。

これは県が目指す、誰一人取り残さない「日本一暮らしやすい埼玉県」の実現につながる役割を担うものであり、彩の国さいたま芸術劇場（以下、「芸術劇場」）と埼玉会館の2館を活動と発信の拠点として、引き続き積極的に芸術文化の振興に取り組んでいく。

## II 財団の組織運営理念

これからの時代にふさわしい芸術文化の姿を再構築し、それを実現できる財団へ進化するために、当財団では以下のとおりミッション等を定めている。これらの実現に向け、積極的に事業を展開していく。

### 【ミッション】

「Art for Life - すべての人生に芸術を - 」

### 【ビジョン】

「アートでつなぐ - 人・地域・世界 - 」

- (1) 世界に通用する舞台芸術を創造・提供する
- (2) 県民に対し満足度の高い芸術文化活動の実践の場を提供する
- (3) 社会や地域の課題に対し芸術文化活動を通じてその解決に貢献する

## III 令和7年度における財団の運営方針

令和7年度は、新たな中期経営計画が開始となる年である。中期経営計画及び本計画に基づき、舞台芸術作品や県民の文化活動の場の提供等、各種事業を展開し、本県の芸術文化の振興という当財団の役割を果たしていく。

舞台芸術作品の提供においては、演劇、舞踊、音楽を中心に、彩の国シェイクスピア・シリーズ2nd「マクベス」や海外カンパニーの招聘をはじめとした国内外で活躍するアーティストによる公演など、芸術性の高い舞台芸術作品を上演するとともに、若手アーティストを起用した公演を実施することで舞台芸術の次代を担う人材の育成を図っていく。

また、近藤良平芸術監督が掲げるテーマ「クロッシング」の下、異なるジャンルを融合したジャンル・クロス作品の新作上演や多彩な文化の掘り起こしや地域活性

化を目的とした「埼玉回遊」に取り組むとともに、芸術劇場オープン・シアター等を実施する。

さらに、昨年度、近藤芸術監督が立ち上げたプロ・アマ、年齢、障害の有無等の垣根を超えて活動するシアターグループ「カンパニー・グランデ」は、2月の本公演に向けてスタジオワークの内容を発展させ、創作活動を活発化していく。

これら事業の実施に当たっては、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律（以下、「劇場法）」等を踏まえ、社会課題の解決に貢献する芸術活動を推進するため、鑑賞サポートの取組も拡大していく。

令和8年に創立100周年を控える埼玉会館では、ブランディング事業としてプレイベントを開催するなど、歴史的・建築的価値を発信し、機運を高めていく。

県民の文化活動の場の提供においては、各施設等が十分に活用されるよう利用者サービスの向上に努めるとともに、利用者が安心・安全かつ快適に施設を利用できるよう、コスト面も考慮しながら計画的に修繕や点検を実施するなど、適切な管理運営を行う。

これらの事業も含め、幅広い事業をこれまで培ってきた実績と経験を最大限に活用しながら実施するとともに、経営の健全化及び経営基盤の強化に取り組むことで、県内における芸術文化の一層の振興と、真に豊かさゆとりを実感できる県民生活の実現を図っていく。

## 1 舞台芸術作品の提供等に関する事業

当財団の事業展開戦略を踏まえ、芸術劇場と埼玉会館の計6つのホールの特徴を活かしながら、次の自主企画公演等を実施する。

### (1) 世界に通じる演劇・舞踊・音楽とその融合・発展（8事業）

国内外からの埼玉県のアート文化への評価を高めるため、芸術性の高い舞台芸術作品の上演や演奏会を行う。一部の公演では関連企画として、作品への理解を深めるためのワークショップや解説レクチャーを実施する。

事業名	実施予定時期	会場	内容
<b>音楽</b> バッハ・コレギウム・ジャパン J.S. バッハ 《マタイ受難曲》	4月	芸術劇場 音楽ホール	国際的に最も高い評価を集める日本の演奏団体に成長を遂げたバッハ・コレギウム・ジャパンによる公演。令和7年度はバッハの宗教曲の傑作《マタイ受難曲》を採り上げる。教育的プログラムとして、公演に先駆けて関連レクチャーの開催を予定している。
<b>演劇</b> 彩の国シェイクスピア・シリーズ 2nd Vol. 2 『マクベス』	5月	芸術劇場 大ホール	「彩の国シェイクスピア・シリーズ」の後継事業として吉田鋼太郎シリーズ芸術監督のもと、シェイクスピア作品を上演する新企画。2作目として吉田鋼太郎の演出により悲劇『マクベス』を上演する。
<b>舞踊</b> アクラム・カーン 『ジャングル・ブック』	6月	芸術劇場 大ホール	インドの古典舞踊「カタック」と現代ダンスを融合、社会的な視点を創作に取り込み、ロンドン五輪開会式での振付をはじめ、世界的な活躍で知られるダンサー・振付家アクラム・カーンが、『ジャングル・ブック』で12年振りに埼玉に登場する。

事業名	実施予定時期	会場	内容
音楽 ユリアンナ・アヴデーエワ ピアノ・リサイタル	6月	芸術劇場 音楽ホール	2010年のショパン国際ピアノ・コンクールでの優勝以来、世界を股にかけて活躍し続け、意欲的な活動内容でも注目を集めるピアニストを迎え、リサイタルを開催する。ショスタコーヴィチの没後50年を記念し、彼の《24の前奏曲とフーガ》全曲という独自性のあるプログラムを予定している。
演劇 ジャンル・クロスⅢ 近藤良平×松井周 作品	8月	芸術劇場 小ホール	近藤芸術監督が劇場の活動指針として掲げるジャンル・クロスの新作公演。劇作家・松井周がオリジナル戯曲の書き下ろしを手掛け、近藤芸術監督が演出を務める。
音楽 NHK交響楽団 角田鋼亮（指揮）・ 中野りな（ヴァイオリン）	9月	埼玉会館 大ホール	日本を代表するオーケストラであるNHK交響楽団による演奏会。ソリストには若手ヴァイオリニストとして注目を集める中野りなを迎える。
音楽 フィリップ・ジャルスキー（カウンターテナー）&ティボー・ガルシア（ギター）	10月	芸術劇場 音楽ホール	人気と実力を兼ね備え、世界的な活躍で注目を集めるカウンターテナー歌手とギター奏者によるデュオ・リサイタル。ともにフランス出身のフィリップ・ジャルスキーとティボー・ガルシアによる、親密さと美しさが際立つアンサンブルを予定している。
舞踊 ヴッパタール舞踊団 ピナ・バウシュ 『Sweet Mambo』	11月	芸術劇場 大ホール	これまで数々の作品を埼玉で上演し、平成21年に惜しまれつつ亡くなった世界的振付家ピナ・バウシュが、亡くなる前年の平成20年に発表した『Sweet Mambo（スイート・マンボ）』をオリジナルキャストを中心としたダンサーにより日本初上演する。

(2) 芸術実践・鑑賞層の拡大（38事業）

- ・舞台芸術の次代を担う人材の育成を図るため、若手ダンサーや演奏家、落語家等を起用した公演を実施するほか、演出家、振付家等による創作や発表の場を提供する。また、大学等と連携し、当劇場の職員が講師を務める講座等を実施する。
- ・芸術文化への関心を高め、裾野の拡大を図るため、良質で親しみやすい公演や県内学校と連携したアウトリーチ事業など、多様なニーズに配慮した事業を実施する。

事業名	実施予定時期	会場	内容
<b>伝統芸能</b> 彩の国さいたま寄席 四季彩亭	5・7・10 ・1月	埼玉会館 小ホール	名人から若手まで実力と人気を兼ね備えた出演者を、独自の視点でラインナップする落語公演を実施する。公演当日の観客投票によって決定する「彩の国落語大賞」を贈呈し、若手落語家のステップアップの支援と落語文化の継承に努める。
<b>舞踊</b> コンドルズ埼玉公演 2025 新作『BORN TO RUN』	6月	芸術劇場 大ホール	平成18年度から継続的に実施している「コンドルズ」による埼玉スペシャル公演の18回目。ダンス、映像、生演奏、人形劇、コントをちりばめ、空間を縦横無尽に使いこなすコンドルズならではの劇場で創作する新作ステージを提供する。
<b>音楽</b> エトワール・シリーズ プラス	6・9・11 ・3月	芸術劇場 音楽ホール	「ピアノ・エトワール・シリーズ」の対象を他の楽器にも拡大し、より深く人材育成に資する内容を目指した新シリーズの2年目。若手演奏家がオリジナルプログラムでリサイタルと室内楽等、内容を違えた2回の公演を行う。令和7年度は、近年ますます活動を充実させている務川慧悟（ピアノ）と金川真弓（ヴァイオリン）を起用する。

事業名	実施予定時期	会場	内容
<b>音楽</b> 埼玉会館ランチタイム・コンサート 第 65 回～第 68 回	6～3 月	埼玉会館 大ホール	平日の昼に開催する、トークを交えたショート・プログラムによる気軽なクラシック・コンサート。会館で公演を行う N 響メンバーによるアンサンブルなど、多彩なラインナップを提供する。
<b>演劇</b> めにみえない みみにしたい	7 月	芸術劇場 小ホール	日本の現代演劇をリードする演劇集団マームとジプシーの主宰である演劇作家・藤田貴大が手掛ける親子で楽しめる演劇作品。平成 30 年の初演以来、全国 28 都市で上演を重ねる『めにみえない みみにしたい』を、当劇場を始めとする国内各地で上演する。
<b>音楽</b> 大塚直哉レクチャー・コンサート (第 12 回、第 13 回)	7・2 月	芸術劇場 音楽ホール	平成 29 年度より音楽ホールにて開催している「大塚直哉レクチャー・コンサート」を継続開催。他分野で活躍する方や他の楽器の演奏家をゲストに迎え、トークやアンサンブルなどを交えてバッハの音楽を深掘りする内容を届ける。
<b>舞踊</b> ダンス・リダイレクション	8 月	芸術劇場 大稽古場等	技術だけでなく、思考力や多様なアプローチを養い、ダンスの方向性を問う育成企画。8 月にメイン講師、ゲスト講師を迎え、実践やディスカッションを盛り込んだ「集中セッション」を開催する。また年間を通して劇場で身体表現に触れる機会を提供する「登録アーティスト」の募集を継続する。

事業名	実施予定時期	会場	内容
<p><b>その他</b></p> <p>オープン・シアター 「ダンスのある星に 生まれて 2025」</p>	10月	芸術劇場	近藤良平芸術監督プロデュースにより、親子や幅広い世代を対象にダンス・音楽などジャンルを超えて気軽に参加、鑑賞して楽しめるプログラムを、劇場空間を活用した、開放的なオープン・シアターとして実施する。劇場敷地内のみならず、与野本町駅前や劇場までのアートストリートエリアでのイベントもあわせて実施していく。
<p><b>舞踊</b></p> <p>日本昔ばなしのダンス（新作）</p>	1月	芸術劇場 小ホール	親子を対象に、日本の昔話を題材としたダンス作品を制作・上演する人気シリーズの第8弾。近藤良平と気鋭の振付家、ダンサーによる新作の2本立てを予定している。
<p><b>伝統芸能</b></p> <p>狂言公演</p>	2月	埼玉会館 大ホール	人間国宝の野村万作とNHK「にほんごであそぼ」を始め映画、現代劇でも活躍する野村萬斎による狂言公演。公演前に狂言講座を設け、伝統芸能初心者にも親しみやすい工夫を行う。
<p><b>音楽</b></p> <p>坂東祐大新作 ミュージックテアター</p>	3月	芸術劇場 (未定)	気鋭の現代作曲家である坂東祐大の新たな取組みとしてミュージック・テアターを制作する。ワークショップを通じて現在の日本における音楽文化の再考察を行い、そこで得た新しい手法を駆使し「ミュージック・テアター」に取り組む。若手邦楽奏者が参加し、邦楽と西洋音楽の垣根を超えた作品の上演を予定している。

事業名	実施予定時期	会場	内容
その他 舞台技術講座	3月	芸術劇場 大ホール他	高校生から25歳以下の方を対象とした音響・照明・道具等の舞台技術に関する講座を行う。また、劇場や舞台技術に関する様々なテーマについて専門家を招いて議論する「さいたま舞台技術フォーラム」も開催する。
演劇 彩の国シェイクスピア講座 番外編	未定	芸術劇場 小ホール	第一線のシェイクスピア研究者を講師として招き、シェイクスピア作品の魅力を掘り下げる。
演劇 岩松了劇作塾	通年	芸術劇場 小ホール 他	劇作家・演出家の岩松了を講師に迎え、キャリア形成過程にある劇作家を対象とした実践的な劇作講座を行う。講座の最後には成果発表として、参加者が書いた戯曲の発表会をリーディング公演の形式で行う。
舞踊 MEET THE DANCE～アーティストが学校にやってくる！	通年	県内中学校	中学校の授業でダンスが必修化された中、プロの振付家、ダンサーによるダンス・ワークショップを県内中学生を対象に実施する。
音楽 光の庭プロムナード ・コンサート	通年	芸術劇場 光の庭	芸術劇場所有のポジティブ・オルガンを活用し、土曜日の午後に劇場内の光の庭において入場無料で開催してきたコンサート・シリーズを、継続実施。声楽又は器楽とのアンサンブルやオルガン・ソロを予定している。
音楽 みんなのオルガン講座	通年	芸術劇場 練習室他	パイプオルガンのしくみを理解し、実際に触れてみる初心者向けのレクチャー、鍵盤楽器経験者等を対象に、発表会に向けて4回のレッスンを受講する「基本コース」1・2（1年目はソロ、2年目はアンサンブル中心）、及び基本コース修了生対象の勉強会で構成する。

事業名	実施予定時期	会場	内容
<p><b>音楽</b></p> <p>MEET THE MUSIC～アーティストが学校にやってくる！</p>	通年	県内小中学校 特別支援学校	県内の小・中学校にプロの演奏家を派遣し、単なる受け身にとどまらない、気づきや発見を伴うプログラムで、生演奏の鑑賞機会を提供する。令和5年度から特別支援学校にも対象を広げて実施している。
<p><b>その他</b></p> <p>オープンスペースの活用</p>	通年	芸術劇場 光の庭他	劇場のオープンスペースを多様なかたちで活用するために、無料のイベントを年4回開催。光の庭でのライブやイベント、全館を活用したインスタレーション、ライブパフォーマンス等を開催予定。老若男女、世代を問わず誰もが気軽に立ち寄れて楽しめるイベントを多数展開する。
<p><b>その他</b></p> <p>あなたと街で踊らせて！さいさい盆踊り普及事業</p>	通年	県内各地	近藤芸術監督が創作した当劇場発の埼玉の盆踊り「さいさい盆踊り」を県内に普及すべく、県内の学校・自治体・盆踊り保存会・企業等で「さいさい盆踊り」のワークショップ・実演を実施。振付を教えるだけでなく、近藤監督が得意とする「からだコミュニケーション」の要素も取り入れて、ダンスや表現の楽しさも伝える。
<p><b>その他</b></p> <p>彩芸 Blossam (提携)</p>	通年	県内各地	舞台芸術の若手支援・育成のための公募型サポートプログラム。当劇場にて作品創作・上演を希望する若手のアーティストを公募し、選抜されたアーティストには劇場のホール・稽古場の使用料を免除する。劇場は広報協力を担い、公演における制作のサポートも行う。

事業名	実施予定時期	会場	内容
その他 芸術監督トークシリーズ「夢の人に逢う」	通年	芸術劇場 映像ホール オンライン	ジャンル・クロスをかかげる近藤芸術監督が注目する多彩なジャンルのアーティストや専門家を招き対談を行う。
その他 大学生インターンシップ <sup>o</sup>	通年	芸術劇場	将来の舞台芸術を担う人材の育成に資するため、県内及び首都圏の大学生を対象としたインターンシップを実施する。
その他 大学への講師派遣	通年	埼玉大学 放送大学	財団職員を講師として派遣し、当財団の事業展開や運営など事例を取り上げた授業を実施する。

(3) 共催（5事業）

本県の芸術文化の振興に寄与する芸術性の高い公演等を共催公演として実施する。

事業名	実施予定時期	会場	内容
舞踊 Noism	7・12月	芸術劇場 大ホール	りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館を拠点に活動する日本初の公共劇場専属舞踊団 Noism Company Niigata との共催公演。Noism0+1による金森穰演出振付による新作を予定している。
音楽 出張！光の庭プロムナード・コンサート	未定	未定	光の庭で開催している無料コンサート・シリーズを、県内施設のロビーなど、劇場外に場所を移して実施。会場施設との地域連携を図りながら、オルガン音楽や古楽アンサンブルを気軽に楽しめる機会を創出する。
その他 彩の国シネマスタジオ	通年	芸術劇場 埼玉会館	NPO 法人埼玉映画ネットワークとの共同開催により、地域に根ざした映画文化の振興を図る映画企画。興行映画館では上映機会の少ない良質な作品を中心に、幅広い年齢層の県民が参加できるプログラムを提供する。

#### (4) 財団広報・事業広報の充実

各公演の特徴に応じて、SNSをはじめとした多様な媒体を活用した広報・営業活動や会員制度の充実を行うことで、経営指標に定めるチケット販売率を達成するとともに、リピーターの拡大や認知度向上を目指す。

##### ア 企画展示事業

彩の国さいたま芸術劇場内の光の庭、ギャラリー等を会場とした企画展示などを年4回実施する。

##### イ 財団情報誌「埼玉アーツシアター通信」の発行

財団の活動を広く一般に広報するためのツールとして、公演や活動内容に関する情報や出演者インタビューや寄稿記事などで構成する財団情報誌を発行する。

(ア) 発行回数、部数 年4回 各12,000部発行

(イ) 配布先 財団メンバーズ、サポーター会員、マスコミ、プレイガイド、県内公共施設など

##### ウ メンバーズ事業

自主企画公演のチケットの優先予約や団体営業などを行うことにより、基盤となる顧客の確保と観客層の拡大を目指し、チケットの販売促進を図る。

会員数 5,563人(令和7年2月末現在)

##### エ サポーター会員の運営

財団の活動を支援いただく法人等の賛助組織「サポーター会員」の運営・管理を行うとともに、新規会員の獲得を図る。

サポーター会員数 135社(者)(令和7年2月末現在)

##### オ その他広報等

近隣公共施設への公演チラシの配架、ホームページやSNSを用い積極的な情報発信を行い、広く県民に芸術劇場及び埼玉会館等の活動を広報する。

## 2 芸術文化活動の場の提供等に関する事業

利用者等が安心して利用できる活動の場の提供のため、芸術劇場及び埼玉会館において、各施設の持つ機能を効果的に活用して質の高い貸館支援と利用者層の拡大を図る。

### (1) 芸術劇場

#### ア 施設の利用促進

- ・ホール、稽古場、練習室等が十分に活用されるよう利用者サービスの向上に努めるほか、施設の空き情報の提供などを行い、利用率の向上に努める。
- ・ホームページを活用し、分かりやすく充実した利用案内や施設利用情報の提供、公演チラシ掲載による貸館公演の広報支援など、サービス充実を図る。
- ・舞台芸術資料室では、演劇、舞踊、音楽、映画等の分野に係る書籍、CD、DVD等を収集するとともに、当財団自主企画公演等の記録映像を含めた資料の適切なアーカイブ化を進める。
- ・自由なアートの遊び場「クリップ」とカフェを運営することで、利用者へのサービス向上や賑わい創出を図る。
- ・施設内及び敷地内において、ファッション誌等やテレビドラマ・映画等の撮影を受け入れる。
- ・貸館利用者を対象に、ライブ配信が容易にできるデジタルインフラのPRを実施し、活用の推進を図る。

#### イ 施設・設備の適切な運営・管理

- ・利用者が安心・安全かつ快適に施設を利用できるよう、コスト面も考慮しながら修繕等の優先順位を検討し、サービスの質を低下させないような管理を実施する。
- ・施設の現状に即した電力やガスなどの契約の見直しを行うほか、既存の設備を最大限に利用し、省エネルギーに努め環境に配慮するとともに経費の削減を図る。
- ・これまでの改修や修繕の履歴、課題といった情報をDX化しデータを蓄積することで、運営に支障が出ないよう課題解決を図る。
- ・有料駐車場及び自動販売機の適切な運営・管理に努め、収入を確保する。

### (2) 埼玉会館

#### ア 施設の利用促進

- ・ホール、会議室、展示室等が十分に活用されるように、ウェブ会議を確実に利用できる環境を整え、利用者サービスの向上に努める。
- ・芸術文化活動以外の講演会、講習会及びその他の催し物等について施設の貸与を行う。
- ・施設の活性化と利用促進のために大型催事の誘致を行うほか、施設の空き

情報の提供、SNSによる情報発信等を行い、利用率の向上に努める。

- ・ホームページ、浦和のFMラジオ「REDS WAVE」での隔週の生放送及び、浦和の地域情報サイト「まいぷれ浦和」に掲載して、分かりやすく充実した利用案内や施設利用情報の提供、貸館公演の広報支援など、サービス充実を図る。

- ・レストランの運営をすることで、利用者へのサービス向上や賑わい創出を図る。

- ・屋外広場を活用したイベントの実施により、施設利用者の増加を図る。

#### イ 施設・設備の適切な運営・管理

- ・利用者が安心・安全かつ快適に施設を利用できるよう、コスト面も考慮しながら修繕等の優先順位を検討し、サービスの質を低下させないような管理を実施する。

- ・既存の設備を最大限に利用し、省エネルギーに努め環境に配慮するとともに経費の削減を図る。

- ・有料駐車場及び自動販売機の適切な運営・管理に努め、収入を確保する。

### 3 社会貢献事業及び地域の活性化に関する事業

劇場法等を踏まえ、多様な人々を対象とした舞台芸術活動や鑑賞サポート等を通じ、社会に貢献する事業を実施する。また、県内自治体や芸術文化団体等との連携を通じて地域活性化を図る。

#### (1) 社会課題の解決に貢献する芸術活動の推進（5事業）

芸術文化を通して社会包摂の実現に貢献するため、子どもから大人まで、障がいの有無等にかかわらず、多様な人々が芸術文化に参加できる公演等を実施する。

また、以下の取組のほか、一部の自主企画公演については、市町村等で実施する「子どもの学習・生活支援事業」に参加する子どもを対象に無償鑑賞事業として招待する。

事業名	実施予定時期	会場	内容
その他 バリアフリー・ セミナー	1月	芸術劇場 映像ホール	障がい者の劇場体験や芸術参加を支援するために必要とされる知識を共有し、方法論や改善策を議論するセミナーを開催する。
その他 埼玉回遊	通年	県内各地	開かれた劇場を推進する新しい取組として、県内各地に近藤監督が出向き、地域に固有の特色ある文化や実践する人々と出会い、リサーチしていく。また、その様子を映像や写真で収め、広く発信していく。県内5か所程度の訪問を予定している。
その他 シアターグループ 「カンパニー・グラ ンデ」	通年	大稽古場 他	令和6年度に設立した多世代かつ様々な属性の人々によるシアターグループ「カンパニー・グランデ」の2年目。スタジオワークの内容をさらに実験的なコンテンツに発展させ、年間5期のスタジオワークののちに、最終的に大ホールで本公演を行う。

事業名	実施予定時期	会場	内容
舞踊 パーキンソン病患者 のためのダンス・プ ログラム	通年	オンライン	パーキンソン病患者のために開発 されたダンス・プログラムのワー クショップをスターダンサーズ・ バレエ団との共働でオンライン配 信により定期開催する。
その他 劇場に“ふれる” 建物見学ツアー	通年	光の庭	光の庭プロムナード・コンサ ート」の開催にあわせて、主に視覚 に障がいのある方を対象に、芸術 劇場を巡るツアーを実施する。 「歩く、手で触る、聴く」をキー ワードに、劇場の館内および館外 をゆっくりと歩き、建物の内外で 普段触れることのない場所・物に 触れ、コンサートを鑑賞する。

## (2) 埼玉会館ブランディング事業（6事業）

令和8年に創立100周年を控え、全国に誇れる価値をもつ埼玉会館の歴史と建築を発信するため、100周年記念イベントをはじめ、ブランディング事業を実施する。

「埼玉会館100年の記憶」を振り返る展示企画やアーカイブ資料の整備に向けて、埼玉会館の大正、昭和時代等の様子が分かる写真や、イベントのチラシ・チケット等の寄贈を引き続き募集する。

また、セミナーやボランティアによる建物ツアーの開催など前川國男氏が設計したモダニズム建築である埼玉会館の多彩な魅力、特徴を様々な角度から知ってもらうことで、ブランド化による更なるイメージと認知度のアップを図る。

事業名	実施予定時期	会場	内容
開館100周年記念 イベント	11月	埼玉会館 展示室他	開館100周年のイベントとして、これまでの歴史を振り返る展示や講演、施設のライトアップを実施する。
開館100周年記念 SNSキャンペーン	通年	オンライン	開館100周年のイベントとして、SNS上でフォトコンテストやクイズ、ライブイベント、カウントダウンを実施する。

事業名	実施予定時期	会場	内容
前川國男 建築セミナー	9月	埼玉会館 大ホール	埼玉会館の建築的価値や歴史的意義を再確認し広く伝えていくため、様々な視点からテーマを選定し、建築の専門家ではない方にも親しんでもらえるセミナーを開催する。
建築見学ツアー	5・7・10 ・12・2 月	埼玉会館 大ホール 他	ボランティアガイドの案内で埼玉会館の各所を見学し、建築的魅力や歴史的・文化的価値を知ることができる体験型のイベントを開催する。
こども建築見学ツアー	8月	埼玉会館 大ホール 他	親子を対象に、ボランティアガイドとコミュニケーションを取りながら施設内外を見学し、お気に入りの場所を見つけたり、ワークショップでお気に入りの場所を発表したりするなど、埼玉会館の魅力を楽しみながら多角的に体験できるイベントを開催する。
フォーラム「まち・みち・たてものを、愛でる・いじる・生かす」	3月	埼玉会館 ラウンジ	「美術と街巡り・浦和」実行委員会の協力を得て、埼玉会館と地域との関わりについて、埼玉県や浦和につながりを持つ建築家や美術家、識者に登壇してもらい、文化と街、建築や歴史の視点で地域住民とともに考える場を提供する。

### (3) 賑わい創出と活性化のための共催・連携事業

県内企業・団体と連携し、双方のコンテンツ・地域資源を活用した創造活動を実施する。

NPO 法人等と連携した映画上映会の開催のほか、さいたま市中央区、バラのまち中央区アートフェスタ実行委員会等の地域団体と協働したイベントの企画や、芸術劇場・埼玉会館がそれぞれ持つ魅力を発信する見学ツアーの開催など、地域と連携したまちづくり活動に参画する。

また、埼玉会館では、美術と街巡り・浦和実行委員会や障がい者団体など高い芸術性や話題性のある事業を共催し、埼玉会館を拠点とした活動や発信の場を広

げる。さらに、地域社会との連携により、屋外広場を活用した町内会のお祭りへの協力や商店会と合同での「県庁通りイルミネーション」の設置、財団自主事業の観客に対し地元商店の協力を得て各種サービスの提供を行う。

あわせて、国や県が推進する啓発事業等と関連したライトアップの取組にも積極的に協力していく。

#### 4 経営の健全化及び経営基盤の強化

中長期的な財団経営体制を確立し、公の施設の管理者としての芸術性の追求と収支構造を意識した効率的な経営を図るため、次の数値目標を設定する。

##### (1) 舞台芸術作品の提供等に関する事業における評価指標

区 分	目標数値	備 考
収 支 比 率	50%	事業に係る経常収益÷事業に係る経常費用×100
有 料 公 演 チ ケ ッ ト 販 売 率	80%	販売席数／設定席数
公 演 満 足 度	95%	

##### (2) 芸術文化活動の場の提供等に関する事業における評価指標

区 分	芸術劇場	埼玉会館	備 考
施 設 利 用 率	85%	75%	利用日数／利用可能日数×100
施 設 利 用 満 足 度	95%	95%	

##### (3) 経常利益を前年度決算より増加させる数値目標

取組項目	具体的な項目	数値目標
利用料金収入の確保	企業・各団体等への営業活動により、利用料金収入を確保する。 芸術劇場：県内企業・団体や高齢者福祉施設等へ各種イベントでの利用を促進するDMの送付 埼玉会館：県内企業・団体へのDMの送付や展示室利用団体への利用希望日調査票の送付による円滑な日程調整	利用料金収入 325,508千円
サポーターの新規獲得	既存サポーター会員等の紹介やネットワークを活用した訪問営業、トップセールス等の営業活動を実施し、新規会員を獲得する。	サポーター会員数 対令和6年度比 +10社
経費削減の徹底	電子契約や支払業務システムの導入など、電子化の推進による事務的経費等の削減を図る。	年間紙代・印刷費 対令和6年度比 ▲40%

(4) DXの推進等により生産性向上や経営効率化、サービス向上に資する数値目標

取組項目	具体的な項目	数値目標
支払業務の電子化	支払業務の電子化により、ペーパーレス化を推進するとともに、業務の効率化を図る。	紙削減枚数 対令和6年度比 ▲約2万枚
電子契約の推進	委託業務等における契約について、電子契約の本格導入により、ペーパーレス化の推進を図るとともに、郵送代や印紙代を削減させる。	郵送代、印紙代の削減 対令和6年度比 ▲約30万円
電子チケットの利用促進	令和5年度に導入した電子チケットの利用を促進し、業務の効率化を図るとともに、利用者のチケット発券等の手間を削減させる。	電子チケット利用率 対令和6年度比 +2%